

(1) 第 5 回一宮川流域委員会の発言要旨

**平成 1 8 年 3 月 2 4 日
一宮川流域委員会事務局**

第5回 一宮川流域委員会の発言要旨(1/2)

主 な 発 言	事 務 局 見 解
<p>1 治水について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の河川水位等のリアルタイム情報は、どこへ連絡すれば得られるのか。 ・災害時の避難に対して行政として何らかの援助が必要でないか。 ・調整池はどの段階で注水をはじめ、どういう形でこの水を川へ戻すのか。 ・調整池の排水にはどのくらい時間がかかるか。 ・16年10月8日～11日までの洪水実績について、基本的に内水が大部分と考えていいのか。その場合、洪水の実体に対する説明が不明確ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のところ、県内各地域の雨量と河川水位の情報を、パソコンと携帯電話で提供しているが、今後はテレビ等のマスコミを通じて誰もが瞬時に情報の提供を受けられるシステムの構築を目指したい。 ・今後、各市町村単位で浸水情報や避難場所、避難基準等を掲載したハザードマップの作成を予定しており、その中で行政として何が出来るのかを含め、市町村の方々と検討を進めていきたい。 ・越流堤の高さまで本川の水位が上昇すると、自然に調整池へ本川より水が流入します。その後本川の水位低下に合わせて排水機関により調整池から本川へ排水します。最後に調整池が空となった時点で水門を閉めます。 ・一宮本川の潮の満ち引きや河川の水門の落ちる水位により違いますが、2日程度と考えています。 ・路面冠水が12箇所発生しました。その内5箇所では交通規制がありました。これについては、すべて内水の排水不良による冠水で、時間的に2～3時間から、最長で半日くらいの冠水と記憶しています。
<p>2 河川環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一宮川に隣接して、(株)日立ディスプレイの新規工場の建設が予定されているが、どのような水質の水をどの程度放流するのか。また放流するにあたってどのような届出が必要なのか、参考にしたいので資料をいただきたい。 ・住民が参加できる河川環境整備の一環として、一宮川河口部の親水広場に海浜植物を育てられるような空間を確保してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・後日、詳細を調査の上、関係者に説明します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>事務局にて調査を行い、平成17年6月21日及び6月27日に関係各委員へ説明を行いました。 説明先委員：一宮川種鰻採捕組合長、前長生村一松内水面漁業組合長、松潟土地改良区理事長、茂原市長、一宮町長、睦沢町長、長生村長、長柄町長、長南町長</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、河口部では親水護岸整備をおこなっているところであり、護岸の背面に砂浜を利用した親水広場を計画しているので、住民の方々と協力しながら河川環境の整備、復元を図っていきたい。

第5回 一宮川流域委員会の発言要旨(2/2)

主 な 発 言	事 務 局 見 解
<p>3 河川の維持管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水対策の一つとして、河道部の堆積土撤去をお願いしたい。 ・一宮川の風物詩であるポンポン船の船着場は、水に親しめる格好の場所であることから、常時市民に開放することはできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・堆積土については、一時撤去したので流下能力は増加したと思われる。現在一部区間に堆積の状況が見られるため、現況の流下能力等を調査しながら、予算要望等対応を考えていきたい。 ・この施設は、ポンポン船の発着場として機能補償という形で整備した経緯から、河川側に転落防止のフェンスなど安全施設がありません。また、多少の洪水でも水没してしまうことから、市民の安全性を優先して、船の利用時以外は立ち入り禁止としておりますので、何とぞご理解をいただきたい。
<p>4 委員会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会資料は、写真や図表等についてコメントを付けたり、表を活用するなどして、言いたいこと、強調したいことが見る側によく分かるよう工夫してもらいたい。(要望) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後はわかりやすい資料づくりに努めます。
<p>委員会後に寄せられた意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川整備が進むにつれ、旧堤防のヨシ原に生息していた水鳥が、残された中州に追われている。巣作りをする水鳥にはヨシ原は是非必要なので、中州を残してほしい。 ・右岸の松がやっと根付いてきているので、もう少し増やすなどして、昔の面影を残してほしい。左岸にも桜や柳の植栽計画をお願いしたい。 ・瑞沢川の遊歩道(自転車道)を歩くとゴミが非常に目立つ。県では一斉にゴミゼロ運動を5月30日に行っているようですが、実施日を草の生える前に移した方が地域の実情にあっており、効率的ではないでしょうか。 ・一宮川の川瀬橋から松潟堰までの自転車道を歩くイベントを企画していますが、河川側に篠竹が繁茂しており川面を望むことができません。川辺の動植物を観察しながら歩きたいと思いますので、篠竹の一部伐採を要望します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の中州については、治水安全度を考慮のうえ検討していきます。 ・右岸の松については、松の生育に必要な適正な間隔を保持するよう間引きや補植を行いながら保全に努めます。左岸の河川区域内の植栽については、堤防に支障のない範囲で関係者と協議し、計画していきます。 ・貴重なご意見ありがとうございます。ゴミゼロ運動につきましては、県下一斉に行うことから、実施日を変更することは非常に困難であるかと思われます。なお、一宮川では、ゴミの撤去を草刈りの時にも同時に行っているところです。また、ゴミ投棄については、捨てる側の環境に対する意識向上が不可欠であることから、地域住民と協力しながら、河川愛護活動や啓蒙活動を行っていきます。 ・今回は河川測量の関係で一部伐採させていただきましたが、この付近は自然環境がよいこととなるべく伐採することなく自然な状態で観察していただけるようご協力をお願いします。

・ 公園は、こゝに整備です。

~~一宮川の右岸 新生橋と中之橋の間に、市民の要望を申請する~~

・ 湖紋のような一宮川畔を歩く会も実施いたします。一宮川に開く500mの住民中心の小規模なもの（一宮町と鹿沢町）です。将来は茂原市長生町に呼びかけ、春のイベントにできるような構想もあります。

・ 歩く経路に当たる川添橋～松崎堰は、左岸の自転車道は、足元は安全ですが、肝心の川面が待竹の繁茂により見えません。

・ ただ歩くだけでなく川辺の動物・植物を観察しながら川のあり方を考える機会です。

「歩行経路のうち、3ヶ所・10×10mの待竹の伐採を要望いたします。」

・ 春は、親水の好機であり、茂原長生自転車道の利用市民も多い時、同じ希望をもつ人々も多く、ここを推進いたします。

(株) 日立ディスプレイが液晶パネルを製作するにあたり、茂原市早野地先に平成 18 年度完成を目処に現在、新工場が建設されております。新工場は、大規模な設備投資や各種工事の実施により雇用の拡大や関連産業への波及効果など地域経済の活性化に大きく貢献すると期待されております。しかしながら、新工場より一宮川へ放流する工場廃水は、環境に配慮され著しく影響ないように検討されていると思いますが、どの位の廃水が河川に放流され、この工場の製造過程でどのような薬品を使用し監視体制は万全か、また、大雨時の工場内の排水処理の体制はどのようになっているのかなど、町民や流域住民から問い合わせ等が寄せられておりますので、是非、その回答と資料等頂ければ幸いです。

細谷委員。町の中で「同」が来ると、後日、
この村を「同」が来ると、
上3レくお願ひします。

(意見)

合併3社による液晶パネル製作会社の稼働が予定されております。
特に大量の水が使用されると言われており、工場廃水の下流域への
影響が懸念されます。

水質、環境への影響はもとより、下流域の農業、漁業への影響を不安
視する向きも少なくありません。町としましては、これらの不安を
払拭することが第1であると考えますので、資料提供等についてご配
意いただければ幸甚であります。

よろしくお願いいたします。